

大崎市学力向上推進事業 – 学力向上マネジメントおおさき方式 –

大崎市教育委員会

1 学力向上4つの柱

学校の取組

(1) カリキュラムマネジメントの工夫

- ・単元全体を見通し、ねらいと評価を明確にした授業づくりを行う。
- ・「学力向上年間計画」を基にPDCAサイクルの循環促進を行う。また、年間および単元計画に基づいた**系統的な指導内容の見直し**を図る。

(2) 授業改善

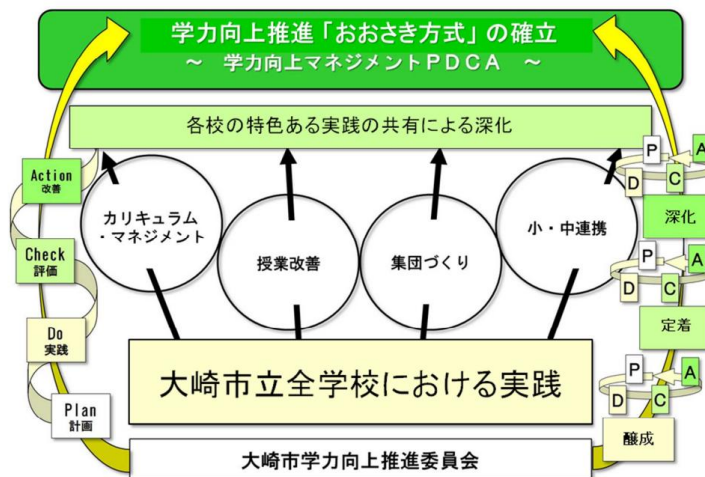
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、**児童生徒自らが課題の解決に向けて考える場を確保**するとともに、**学習意欲を高める工夫**を行う。
- ・「おおさきスタンダードみのり」や「授業評価シート」を活用する。

(3) 集団づくり

- ・学級経営の質が学力にも直結することを意識し、**総合質問紙調査「i-check」等の活用**による実態把握を生かして**安心して学べる学級づくり**を強化する。
- ・**生徒指導上の4つの視点**を生かした学び合いを通じた**集団づくり**を推進する。

(4) 小中連携

- ・小中学校間における**指導内容・評価の共通理解**を深め、スムーズな学びの接続を図るとともに、各校の学力向上につながる取組を行う。
- ・研修会等を通して、中学校区の**児童生徒の実態や共通の課題を共有**する。



大崎市学力向上推進事業 – 学力向上マネジメントおおさき方式 –

大崎市教育委員会

1

学力向上4つの柱

学校の取組

▶「おおさきスタンダードみのり」は、宮城県教育委員会「子供の学びを支援する5つの提言～自立した学習者の育成を目指して～」（令和5年3月発行）を踏まえて作成。


▶各校で「おおさきスタンダードみのり」の5つの取組を意識した実践がなされるように、各校の実態に応じた活用を「みのり取組チェックシート」を用いて振り返り、さらなる促進を図る。

▶指導主事学校訪問、大崎市学力向上推進訪問、各種研修会においても、周知及び活用を行う。

大崎市の子供たちに「できる」「わかる」喜びを！
～おおさきスタンダード～

O(おおさき) S(スタンダード) AKI(あき=みのり)

「みのり」



大崎市の教師の5つの取組 ～子供の学びの充実を目指して～

- 1 学びの環境づくりに努める**
 - ・子供の声に耳を傾ける
 - ・教師と子供、子供同士の良好な人間関係づくりに努める
- 2 粘り強く、諦めない心を育む**
 - ・認め、励まし、時にはヒントを与えて挑戦させる
 - ・粘り強さや努力したことについて、その過程も含め具体的にほめる
- 3 学びに向かう力を育む**
 - ・自由な発想でICTを活用するなど、多様な学びの方法を経験させる
 - ・子供が見通しを持って、自らの学びを自己調整できるよう支援する
- 4 深い学びとなる授業づくりに努める**
 - ・発表や交流の場を取り入れ、協働的な学びができるよう支援する
 - ・各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、深い学びにつながるよう支援する
- 5 家庭学習時間の確保・質的向上に努める**
 - ・授業と家庭学習のつながりを持たせ、一体的な充実を図る
 - ・子供自身による課題設定やICTの効果的な活用等、質的向上に努める
 - ・家庭や学校で読書に親しむ機会の充実を図る

大崎市教育委員会・大崎市内小・中学校長会 令和5年10月作成

おおさきスタンダード「みのり」取組チェックシート

◎:十分達成できた ○:概ね達成できた △:達成できなかった

	前期	後期
取組1 学びの環境づくりに努める		
①子供が安心・安全に学べる環境づくりに努めていますか。		
②子供の声に耳を傾け、子供の状況を把握し、個に応じた指導に生かしていますか。		
③教師と子供、子供同士の良好な人間関係づくりに努めていますか。		
取組2 粘り強く、諦めない心を育む		
①「振り返り」を活用する等、子供の粘り強さや努力した部分を具体的にほめていますか。		
②ヒントを与えたり、励ましたりしながら意欲を引き出していますか。		
③子供たちに目標を持たせ、挑戦しようとする気持ちを育てていますか。		
取組3 学びに向かう力を育む		
①子供たちに多様な学びの方法(学習形態やICT活用等)を経験させていますか。		
②ICTを活用した学びを積極的に取り入れていますか。		
③子供たちに学びの計画を立てさせ、学びの自己調整ができる学習に取り組ませていますか。		
取組4 深い学びとなる授業づくりに努める		
①自分の考えを発表する場を積極的に取り入れていますか。		
②子供たち同士が交流する活動を充実させていますか。		
③子供が「見方・考え方」を働かせられるよう、意図的な働き掛けをおこなっていますか。		
取組5 家庭学習時間の確保・質的向上に努める		
①授業と家庭学習のつながりを持たせるよう、課題を工夫していますか。		
②発達段階に合わせて子供自身が計画し学習に取り組む等、質的向上に努めていますか。		
③家庭や学校で読書に親しむ機会を設定していますか。		

※1 単位時間の取組ではなく、前期・後期の長いスパンで振り返ってみましょう。

大崎市学力向上推進事業 – 学力向上マネジメントおおさき方式 –

大崎市教育委員会

2 各種事業の推進 学校・教育委員会の取組

(1) 児童生徒読解力向上事業：「よむYOMUワークシート」の活用

- ・最新の新聞記事を基に作成したワークシートで、言語能力や情報活用力、論理的思考力を伸ばす。
- ・朝学習や国語科の導入などで継続的に使用する仕組みを整える。



(2) 児童生徒学力向上推進事業：「ロイロノート」・AIドリル「ミライシード」の活用

- ・「ロイロノート」を活用し、**考えの共有や意見交流、思考の可視化**を通して協働的な学びを充実させる。児童生徒が互いの考えを比較・検討しながら学びを深める授業づくりを推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげる。
- ・AIドリル「ミライシード」を授業や補充学習、家庭学習に活用し、**児童生徒一人一人の理解度や学習履歴に応じた問題提示による個別最適な学び**を推進する。



(3) おおさき学力向上プロポーザル事業

- ・学校課題に応じた独自の企画・立案のもと、学習指導の充実及び教員の資質向上、**学校・家庭・地域の連携を図る先導的な事業を展開**するとともに、成果については大崎市立学校への水平展開を図る。

(4) 大崎市学力向上推進訪問

- ・大崎市教育委員会指導主事が**全ての小・中・義務教育学校及び子育て支援総合施設を訪問し、授業参観や授業通覧等を通して授業改善に向けた指導・助言**を行う。また、本市の学力向上に係る施策の取組状況を確認し、さらなる推進を図る。

(5) 大崎市教育研究員研修事業

- ・推薦された大崎市立学校教員が研究員として、**大崎市における教育課題について実践的に調査・研究し、実践的指導力の向上と教育研究の推進役としての資質向上**を図る。



大崎市学力向上推進事業 – 学力向上マネジメントおおさき方式 –

大崎市教育委員会

3

家庭学習の充実

家庭の取組

(1) 家庭学習の習慣化

– 生活リズムの「3点固定」 –

生活リズムの3点として、

- ①起床時刻
- ②家庭学習の開始時刻
- ③就寝時刻

の3つの時刻を毎日固定し、「3点固定」の生活習慣を身に付ける。十分な睡眠時間を確保して体調を整え、毎日決まった時刻に勉強することで学習習慣を身に付ける。また、自分で決めた時刻を守ること、目標達成に必要な自己コントロール力も育むことにつながる。

(2) 家庭学習の時間の確保 – 学習の量の向上 –

平日・休日ともに、家庭学習であらかじめ決めた時間帯に一定の学習時間を継続して確保する。毎日学習時間を確保することで、学習内容の定着にもつなげる。

(3) 家庭学習の内容の工夫 – 学習の質の向上 –

- 家庭学習の目標設定や、学習内容の振り返りを行う。
- 「よむYOMUワークシート」等を活用して、読解力向上を図る。
- 学習内容に応じて、ワークやAIドリルを使い分ける。
- 「おおさきスタチャレ」を活用し、全国学力・学習状況調査の過去問題や「みやぎ単元ライブラリー」の問題に取り組む。

学力向上 1・2・3運動

学校と家庭で共に

- 1 学校で 1人ひとりに目を向ける 個別最適な学び
個に応じた指導や支援に、AIドリル等を活用しよう。
- 2 学校で 2人以上の学び合いの場をつくる 協働的な学び
対話やホワイトボード等を活用して学び合いを行い、考えを広げ深めよう。
- 3 家庭で 30分プラスの家庭学習を行う 「あと3問」への挑戦
家庭学習の時間をあと30分増やし、各種テスト等とあと3問正答を目標とせよ。

学校で

学ぶ楽しさや達成感を実感できる授業づくり
– 主体的・対話的で深い学びの土台づくりと実現に向けて –

- ▶ 授業の展開に合わせた学び合いの場を確保し、教師の指導や問いかけを大切にします。
- ▶ 主体的・対話的で深い学びを実現するために、授業の場を工夫して学びます。
- ▶ AIドリルやホワイトボードなども活用し、「楽しい」「できた」を実感できる授業づくりを行います。
- ▶ 児童委員の協働による授業や評価を重視した授業づくりを行います。

ねらいと評価を明確にした単元構想
– カリキュラム・マネジメントの工夫を通して –

- ▶ 単元構想を見直し、ねらいと評価を明確にした授業づくりを行います。
- ▶ 学力向上推進計画を基に、PDCAサイクルの循環実施を行います。

生活習慣と正答率

平日の学習時間

主体的な学習時間の調査

STEP1 家庭学習の習慣化 – 生活リズムの「3点固定」 –

STEP2 家庭学習の時間の確保 – 学習の量の向上 –

STEP3 家庭学習の内容の工夫 – 学習の質の向上 –

子どものやる気を引き出す「家庭のひと工夫」

おおさきスタチャレ

大崎市学習支援がけのポータルサイト

「スタチャレ」検索画面の中にも掲載されています。E.A.C.A.機能にそなえてお知らせ！

精選コンテンツ

全国学力・学習状況調査問題集

みやぎ単元ライブラリー

読解力向上ワークシート

チャレンジday

◀リーフレットの配布等を通して、継続的に情報発信し、保護者と家庭学習のあり方や学習状況を共有。